

野村：お願いします。チセハウス。渡辺さんにも聞いたけどね。渡辺さんに聞いたけどね、チセハウス、平成2年の段階でね、町長がね、町と、どう活用するかを決めている、という話を聞いている。検討してるってことね、今ね、渡辺さんに聞いたらね、何も決まってないということを使う。でも、あそこの立地から考えたらね、スキー場と一体としてね、どう使うか、ということを考えるのが自然。であるならね、また、内々でね、あなた方はね、何にも見せない状態でね、密室で決めてね、何も出さない状態で、ある程度、見通しをつけるんじゃないかってね、こういうものがある、と、どうしようか考えてる、と、オープンにしてね、検討するというのはね、僕は当たり前のことだと思うんですけども。それはね、どうなってるんですか？ チセハウスをね、チセハウスの土地をどうするかって話は。

渡辺：（不明）覚えてないですね。

野村：いやでも平成2年の段階でね、どう使おうかということはね、町で検討すると、いろんな人とね、いう記録が残ってますよ、町長の言葉として。それはがね、途中でやめちゃうってことはないでしょう。しかもね、賃借権がもう完全にね、切れたわけでしょう。町のね、賃借権がなくて、町が利用できる状態になったわけでしょう？ それがね止まっているということ自体の方がおかしいよ。賃借権がある状態で、だってね。

渡辺：なんで、おかしいんですか？

野村：賃借権がある状態でね、あの土地をどうしようかというね・・・

渡辺：一応、町の方に帰属して、ね、壊れそうな建物を戻してもらって、今その場所を、その状態で、今このままで、次何しようかっていうのを、平らな平地の状態、今すぐ、何かありますか？ 町の考えてる、その、町があそこどうしようって・・・

野村：あのね、整理したいんですよ。建物があつた時代は、その建物があるから、当然、賃借権があつてね、町ではどうにもならない状態だった。ただそれはね、建物が取り壊されてね、賃借権はなくなってね、もうそのまま賃借権のない町の土地。綺麗な状態になってるってことで間違いないですよ？ 今の状態、賃借権がない状態。で僕が言ってる平成2年の段階、平成2年の段階というのはね、まだ建物が残ってた段階。賃借権が存続してた段階で、町長がね、あれをどうしようかという話をね、民間のね。企業とね、どうしようか、という打ち合わせをしているという記録が残ってます。つまり、賃借

権が残ってどうにもならない状態でね、そういう話が行われてたにもかかわらず、賃借権がなくなってね、町でどうにでもできる状態なのにね、それをしてないっていうのがね。何か不一致がないですかと。「どうしようか？」ってね、もっと考え、具体的に考えていいわけですよ。

渡辺：とうぜん考えていかなきゃ・・・

野村：だから、渡辺さんに聞いているのはね。オープンにすべきじゃないんですかと。今ね、このね、チセハウスがなくなってね、これはね、町のものとしてね、使える状態になってると。ね、町で誰が見てもね、これをこう使うべきというのが、ないんであればね、町民にね、あそこは重要な土地だとね、町長も言ってますし、誰が見てもそうですよ。じゃ、これをどうしましょうか？っていうね、アイデアを募ったりね、少なくとも、今そういう状態にあるということ、見ればわかることですけどね。広く町民に見せるべきじゃないんでしょうか？ 何で見せないのか、僕は不思議ではないよ。

山内：いや、考えてないですから・・・

野村：平成2年の段階でね、考えてたんですよ、平成2年の段階で。実は具体的にね、民間事業者とね、打ち合わせしてるんですよ、どうしようかっていう話を。

山内：それからは、たぶん、話としては進んでなかったんだと思う。

野村：普通に考えればね、そのときでね、賃借権がなくなって、本当にね、今の段階の方がよっぽどね、話をしやすいんでね。進めますよ。僕が懸念してるのはね、また同じ事をやるんじゃないだろうか、と。またね、またね、雪秩父とか、チセヌプリと同じようにね。コソコソ、密室で決めてね、あとからね、後から何か、体裁だけ取り繕ったような形をしてね、ことをやるんじゃないだろうか、ということ、これを心配して言ってるんですよ。

山内：ありがとうございます。十分検討させていただきます。

野村：僕聞いたのはね、表に出すべきじゃないんでしょうか？

山内：検討させていただきます、と言ってます。うちは、今あなたのそれに対して、即答できるだけの考え、急に言ってきたから・・・

野村：急にじゃないでしょう。

野村：あまた言われたのは・・・

野村：僕が言ったのは急ですよ。でも、平成2年の段階でね、そういう話しをしてるわけですから、

山内：それがあったのかもしれませんが、それ以降、話し進んでませんから、話しとしては、頓挫している状況だと思うんです。いま、言われる通り、町になりました、あそこ少し綺麗に整理してくれましたから。だから、当然、何かをするか、あのままにしておくっていうのもどうかなというのは、もちろんあるんでしょうけども、今、どうするっていうことはちょっとはつきり申し上げ

野村：あなた方でね、アイデアがないのであればね、町民に広くね、意見を求める、というのはね・・・

山内：それは、一つのあれですね、考えの中には入ってくるでしょうね。検討の中には当然それも入ってくる

野村：僕はすべきだと思いますけどね、今までのね、反省をね、考えれば。

山内：参考にはさせてもらいます。

野村：ええ。僕はやるべきだと思いますけどね。

山内：参考にはさせてもらいます。

野村：わかりました。はい。質問は以上です。余計なことまで言ってすみません。お時間ありがとうございました。